

平成25年度事業報告書

1. 事業概要

1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

2) 事業実績

(1) 農地利用集積円滑化事業

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家や規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として貸貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスを行い、具体的な利用権設定および所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積および流動化の推進に努めた。

また、今年度の新たな取り組みとして、平成24年10月に那須塩原市が作成した人・農地プランの実行性を高めるために5月から2名の推進員を雇用し、農地の出し手への訪問と状況確認を積極的に行ったほか、昨年度に引き続き、経営所得安定対策の加算措置である規模拡大交付金について、規模拡大志向の農業者へ交付金対象の可能性があると思われる新規の利用権設定の促進と農地の面的集積状況について確認作業を行った。

○合同受付・相談会開催日

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

		25.4月	5月	6月	7月	8月	9月
利 用 権	黒 磯	4/5	5/7,9	6/7	7/5	8/5	9/6
	西那須野	4/8	5/2	6/4	—	8/6	—
	塩 原	4/9	—	6/5	7/4	—	—

		10月	11月	12月	26.1月	2月	3月
利 用 権	黒磯	10/7	11/11	12/2	1/8	2/3, 4	3/4
	西那須野	10/3	11/1, 5	12/3	1/7	2/6, 7	3/5
	塩原	10/3	11/6, 7	12/3	—	2/7	3/6

	25.4月	5月	6月	7月	8月	9月
所有権移転	4/23	5/23	6/26	—	8/26	9/26
	10月	11月	12月	26.1月	2月	3月
	10/25	11/21	12/25	1/23, 28	2/24	3/11

①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約の締結を実施した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を実施した。

(平成26年3月31日現在)

	件数	面積
委任契約件数	250件	251ha
前年度(比較%)	192件(130.2%)	194ha(129.4%)

②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借り受けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

これに合わせて、その農地の新たな貸し付け先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸し付けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替および貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

(平成26年3月31日現在)

		所有者から借入	借り手に貸付
25年度	件数	46件	45件
	面積	55ha	55ha
前年度 (比較%)	件数	61件(75.4%)	65件(69.2%)
	面積	77ha(71.4%)	77ha(71.4%)

(平成26年3月31日現在)

	借り手から振替	所有者へ振込	賃借料
25年度	213件	220件	41,398千円
前年度(比較%)	202件(105.4%)	201件(109.5%)	38,640千円(107.1%)

※25年度利用権設定等実績（公社が借手と貸手の間に入った契約+相対の契約）

期末貸借総ストック【(A) - (B) + (C)】 (平成26年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
期末貸借総ストック	1,533件	1,442ha	1,079ha	363ha
前年度(比較%)	1,458件(105.1%)	1,375ha(104.5%)	1,033ha(104.5%)	342ha(106.1%)

(A) 期首貸借総ストック (平成25年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
期首貸借総ストック	1,458件	1,375ha	1,033ha	342ha

(B) 当年度内満了、解約 (平成26年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
満了、解約	266件	239ha	193ha	46ha
前年度(比較%)	251件(106%)	210ha(113.9%)	170ha(113.5%)	41ha(112.1%)

(C) 当年度内新規設定、再設定 (平成26年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑	
新規設定	126件	119ha	94ha	25ha	
再設定	215件	187ha	145ha	42ha	
前年度	新規	98件(128.6%)	80ha(148.8%)	61ha(154.1%)	19ha(131.6%)
(比較%)	再設定	220件(97.7%)	191ha(97.9%)	159ha(91.2%)	32ha(131.3%)

③農地売買等受託事業

市内の農地情報に公社が精通していることから、農地の売買を主に農地保有合理化学業を展開する公益財団法人栃木県農業振興公社から農用地のあっせんにかかる事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家や離農する農家、又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買い受け予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、県公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。

また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買い受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

(平成26年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
所有者から県公社へ売渡	16件	13.5ha	9.9ha	3.6ha
前年度(比較%)	21件(76.2%)	18.6ha(72.6%)	7.8ha(126.9%)	10.8ha(33.3%)
県公社から担い手へ売渡	14件	11.2ha	6.7ha	4.5ha
前年度(比較%)	15件(93.3%)	13.4ha(83.6%)	3.9ha(171.8%)	9.5ha(47.4%)

④規模拡大交付金関係

平成24年度に引き続き、経営所得安定対策の加算措置である規模拡大交付金について、市農業再生協議会と連携し、規模拡大志向の農業者へ交付金対象の可能性があると思われる新規の利用権設定の促進を図り、併せて農地の面的集積状況について確認作業を行った。

(平成26年3月31日現在)

	件数	面積
規模拡大交付金	50件	74ha
前年度(比較%)	43件(116.3%)	57ha(130%)

⑤人・農地プラン推進費活用事業関係

平成24年10月に那須塩原市が作成した人・農地プランの実行性を高めるべく、国の人・農地プラン推進費活用事業を通じて推進員を2名雇用した。主な活動としては、人・農地プランに農地の出し手として搭載されている農地所有者を訪問し、農地の耕作状況や貸付けについての意思確認を行った。

貸付希望者については、地域の中心経営体との交渉を重ねて白紙委任契約及び利用権設定に結びつけた。

加えて認定農業者を中心に農地の借り受け希望や規模拡大の意向等について情報収集を行ったほか、地区推進員や農業委員を訪問し、地域の農地の異動状況等の情報収集を行い、新たな農地の出し手の掘り起しに努めた。

- ◆実施期間 平成25年5月8日～平成26年3月31日
- ◆推進員数 2名
- ◆活動日数 延べ 193日(1,005時間)
- ◆活動距離 延べ 7,331km
- ◆訪問者数 下表のとおり

◎訪問者数及び訪問回数一覧

	農地の出し手		地域の担い手		地区推進員他	
	訪問者数	訪問回数	訪問者数	訪問回数	訪問者数	訪問回数
黒磯	6	8	5	7	15	20
鍋掛	8	22	0	0	21	22
東那須野	18	60	15	43	24	30

高 林	15	31	25	28	24	322
西那須野	27	130	1	13	0	0
狩 野	19	50	0	0	0	0
箒 根	18	60	5	24	25	52
塩 原	5	10	0	0	0	0
計	116	371	51	115	109	446

注：農地の出し手… 人・農地プランに搭載されている農地の貸し付け希望者
 地域の担い手… 人・農地プランに搭載されている中心経営体、認定農業者
 地区推進員他… 地区推進員、農業委員等

注：訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1人のところへ複数回訪問しているため。

◎出し手意向確認一覧

	貸付成立(協力金)	将来的に貸付	売買希望	現状維持	不明	計
黒 磯	1(0)	0	0	5	0	6(0)
鍋 掛	0(0)	3	0	5	0	8(0)
東那須野	3(1)	3	0	12	0	18(1)
高 林	4(1)	0	1	10	0	15(1)
西那須野	7(2)	4	1	13	2	27(2)
狩 野	1(1)	5	1	12	0	19(1)
箒 根	0(0)	4	0	13	1	18(0)
塩 原	0(0)	0	0	5	0	5(0)
計	16(5)	19	3	75	3	116(5)

(2) 農業者研修育成事業

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

① 農業経営改善講演会の開催

経営管理能力の向上や農業農村の活性化、農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。また、農業情勢をめぐる政策において大きな転換期を迎えようとしている中、この度国が打ち出した経営所得安定対策の見直しを始めとする4つの改革について、学識経験者を招いて制度の内容等について説明の場を設け、地域農業者へ最新の情報を提供すべく農業経営改善講演会を開催した。

実施日	内 容	会 場	人数
26.1.21	農業経営改善講演会（経営所得安定対策の見直しと地域農業の課題～農政改革の方向～）	いきいきふれあいセンター	127

②海外派遣研修事業

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応できる優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

参加した青年農業者は、様々な農業経営のあり方を視察研修することで、食の安全性へのこだわり、減農薬や有機栽培への取り組み、生産・加工・販売の確立など、短期間ではあったものの多くのことを見聞し学んだ。

なお、帰国後は、市長への報告を始め解団式において研修内容の発表を行ったほか、12月には、那須野が原青少年クラブ協議会主催の実績意見発表会において報告を行った。今後においては地域農業の発展のために活発な活動が期待できるものとする。

研修期間	内 容	人数
25. 9. 23～10. 2	農業者海外研修派遣（イタリア、オランダ、フランス）	1

(3) 認定農業者育成事業

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしながら、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と併せて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織化しかつその強化を図り、会が中心となって講演会や講習会および研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

①農業経営改善計画書の作成に係る相談及び審査について

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を毎月1回実施し、認定農業者の確保および新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会を毎月1回開催し、計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、今年度において認定日から3年目と5年目を迎えた認定農業者については、昨年度に国が定めた新たな経営指標への取り組み状況の確認を行い、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨周知を図った。

なお、認定農業者数が年度当初の592人から565人に減少した理由については、申請時期が農繁期と

重なり期限までの更新手続きができなかったこと、認定農業者本人の高齢化や死亡などにより辞退者が出たことが原因に挙げられる。

○認定農業者数の推移 (平成25年4月1日～平成26年3月31日現在)

	25.4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	592	594	594	591	589	588
(当月認定者数)	(7)	(7)	(5)	(4)	(2)	(0)
	10月	11月	12月	26.1月	2月	3月
認定農業者数	588	582	580	577	575	565
(当月認定者数)	(4)	(8)	(2)	(7)	(28)	(26)

○認定農業者数(地区別) (平成26年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
26年3月末	357	124	84	565
25年度内認定(内新規)	59(19)	31(3)	10(3)	100(25)
25年3月末(比較%)	365(97.9%)	135(91.9%)	93(90.3%)	593(95.3%)

○新たな経営指標への取り組み状況

平成22年認定(3年目) 34件 平成20年認定(5年目) 69件

○集合指導会開催日 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	25.4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒 磯	4/5	5/7	6/7	7/5	8/5	9/6
西那須野	4/8	—	6/4	—	8/6	9/5
塩 原	—	—	6/5	—	—	9/9
審査会	—	5/7, 28	6/24	7/25	—	9/27
	10月	11月	12月	26.1月	2月	3月
黒 磯	10/8	11/12	12/4, 5	1/8	2/5	3/4, 7
西那須野	—	—	12/6, 9	1/7	2/6	3/5
塩 原	10/3	11/7	12/3	1/10	2/7	3/6
審査会	10/29	11/25	12/26	1/29	2/27	3/26

②認定農業者の育成・支援、認定農業者の会の運営

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、今年度から支部を統合して一本化した新たな組織体制で活動を始め、適宜役員会や班

長会議を開催し、事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めた。

今年度においては、全体事業として6次産業化や先進地等の視察研修会を開催したほか、本市の姉妹都市であるひたちなか市への訪問と招聘を重ね、ひたちなか市認定農業者の会との交流を図った。

また、新たに地域事業の取り組みを開始し、会員が主体となって写真コンテストや農産物PRイベントを開催したほか、小水力発電施設や自然エネルギー施設の視察研修会の開催等、農業理解及び地域貢献を意識した積極的な活動を行った。

その他、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的な参加を図った。

認定農業者会・研修事業等

年月	実 施 内 容
25. 5	・第1回役員会（17日）
25. 6	・那須地区認定農業者第1回役員会（7日） ・班長会議（西那須野・狩野13日、黒磯18日、箒根・塩原19日、鍋掛20日 高林21日、東那須野25日）
25. 7	・第2回役員会（23日） ・那須地区認定農業者協議会第2回役員会、視察研修会（25日/6名）
25. 8	・班長会議（高林19日、黒磯20日、鍋掛21日） ・全体研修会（アグリノート2013視察 23日/27名）
25. 9	・班長会議（西那須野・狩野4日、箒根・塩原12日）
25. 10	・班長会議（東那須野16日、26日） ・西那須野・狩野地区合同事業 （くず米販売17日/60名、新米つかみどり20日/9名） ・黒磯地区事業（水力発電所等視察研修24日/11名） ・第14回全国農業担い手サミット in いしかわ（30～31日/10名）
25. 11	・東那須野地区事業（新米無料配布3日/7名） ・栃木県農業優良担い手躍進大会（13日/11名） ・班長会議（高林地区28日、鍋掛地区29日）
25. 12	・箒根・塩原地区合同事業（水力発電所等視察研修11日/13名） ・第3回役員会（12日）
26. 1	・那須地方農業者懇談会（24日/5名）
26. 2	・鍋掛・高林地区事業（フォトコンテスト審査会4,5日、審査発表10日） ・姉妹都市交流会（ひたちなか市認定農業者の会訪問 12日/38名）
26. 3	・平成25年度決算監査、第4回役員会（10日） ・トップリーダー発表会（14日/4名） ・姉妹都市交流会（ひたちなか市認定農業者の会招聘 17日/6名） ・平成25年度定期総会（20日/76名） ・平成25年度那須地区認定農業者協議会定期総会（24日/2名）

(4) 農林業施設の管理運営事業

①農林業施設管理運営事業

本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを企画し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

加えて、地元小学生や道の駅を訪れた子供たちに農作業を体験してもらい、農業や植物に対する興味を持つきっかけの場を提供した。

国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸を含め、道の駅全体の管理として、消防衛生施設の点検、消防訓練、害虫の駆除、道の駅トイレの清掃管理、ハンナガーデンの管理等を行い、利用者が安心して利用できるよう努めた。

平成25年度「明治の森・黒磯」利用状況

	道の駅利用者数	利用者 前年比	売上高計		売上高 前年比	記念館	前年比
						青木邸有料入館数	
4月	30,500 人	100.9%	9,602,421	円	104.7%	627 人	108.9%
5月	43,625 人	117.1%	14,195,352	円	112.4%	1,226 人	102.3%
6月	40,780 人	109.8%	11,559,671	円	107.3%	783 人	123.1%
7月	46,515 人	102.2%	13,162,656	円	100.6%	768 人	85.8%
8月	61,925 人	101.9%	20,405,135	円	102.4%	1,518 人	95.7%
9月	46,405 人	94.5%	12,992,044	円	92.5%	855 人	69.7%
10月	44,250 人	98.6%	12,469,946	円	94.3%	1,101 人	85.4%
11月	40,440 人	112.8%	11,913,236	円	112.2%	685 人	63.6%
12月	29,855 人	113.9%	8,816,819	円	119.1%	227 人	76.9%
1月	19,825 人	118.8%	6,173,780	円	124.3%	194 人	101.0%
2月	15,215 人	83.3%	4,771,839	円	88.0%	206 人	99.5%
3月	25,950 人	104.6%	8,703,091	円	118.8%	378 人	108.0%
計	445,285 人	104.4%	134,765,990	円	104.4%	8,568 人	89.9%

※利用者数は推定、青木邸は実数である。

イベント内容

イベント名	開催日	主な内容	来客数(人)
春の感謝祭	4月7日	割引販売 堆肥の無料配布 鍋・牛乳の無料配布	700
夏の感謝祭	8月4日	割引販売 堆肥の無料配布 オカリナコンサート	3,000
収穫祭	11月10日	割引販売 新米のつかみ取り 鍋の無料配布	2,400
クリスマスイベント	12月22日	ホットミルク試飲 卵のつかみ取り	1,500
初売り	1月4日	福袋販売 抽選会 おしるこの無料配布	1,300
バレンタインイベント	2月8、9日	バレンタインプレゼント、チョコマシュマロの無料配布	650
ひな祭りイベント	3月2日	甘酒、ポップコーンの無料配布	1,200

※来客数については推定である。

その他事業

	開催日	場 所	対 象	参加人数(人)
トマト収穫体験	7月1日	青木地区農家宅	青木小学校5・6年生	24
さつまいも収穫体験	10月31日	道の駅	青木小学校3・4年生	31
さつまいも掘れ掘れ大会	11月10日	道の駅	小学生以下の道の駅利用者	41

②道の駅管理販売事業

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入れ販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の野菜不足解消のため商品の仕入れ販売、七夕・クリスマスツリー・つるし雛等季節の飾りつけをし利用者の確保に努めた。

ホームページやWiFi機能を活かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

(5) 都市農村交流促進事業

都市住民からの野菜等を栽培して自然に触れ合いたいという気運要請と市内の遊休農地を始めとする未利用農地の有効活用を図るべく、農地所有者の協力の下、農業に興味のある市民を対象にふれあい農園を開設し管理業務を行った。

利用者は、農業の魅力である自ら土に触れ、耕作し、収穫する喜びを直に体験することで農業への理解を深め、農地所有者においても利用者からの作付け方法を始め農業に係る相談に応じるなど、お互いに交流を図ることで消費者ニーズ等の把握、都市と農村との相互理解を深めた。

管理面においては、年間を通じて農園の利用状況について現地確認を行い、不良個所の整備、看板の設置、利用者からの苦情等への対応を図った。加えて空き区画への対応として、農園利用を促す記事を市広報や各戸回覧、公社のホームページを通じて幅広く周知し、利用率の向上に努めた。

また、年度末においては、次年度の準備として利用更新希望者の更新手続きや、空き区画対策として市広報及び各戸回覧により広く新規利用者の募集を図った。

ふれあい農園利用状況

(平成26年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
農 園 箇 所	6	6	2	14
区 画 数	113	168	40	321
利用区画数	93	168	33.5	294.5
前年度利用区画数 (比較%)	77(120.8%)	175(96%)	35(95.7%)	289(101.9%)

※西那須野地区の太夫塚農園については、農園開設者が農園の一部を住宅に転用したことから、平成26年1月から利用区画数が9区画減少している。また、塩原地区の関谷農園については、現在の利用状況に合わせ1区画減少している。

(6) 農業情報の収集、分析、提供事業

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報を収集、分析提供して農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広い情報発信を行うと共に、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得ができるよう整備し、利用者の利便性を図った。

加えて、公益を増進する公益法人として、高まる情報公開の必要性から定款、事業計画、正味財産増減予算書等の公開に努めた。

(7) 地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業

地域の資源を活用した特産品を開発するための調査研修を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行なった。

①栃木県による「農産物及び農産加工等を活用したギフトづくり」の一環として、地元企業である小林精肉店、カゴメ株式会社と青木産直会合同によるお歳暮のギフトを開発し、販売を行った。

販売実績

ギフト名	販売実績	ギフト内容
トマト鍋セット	63個	トマト鍋スープ 鶏肉 野菜 米 キムチ
お正月3ケ日セット	12個	もち 鶏肉 野菜 米

研修・検討会開催

期 日	内 容	参集者 (人)
7月18日(木)	ギフトづくり検討会(第1回)	3
9月12日(木)	ギフトづくり打ち合わせ(内容の検討)	4
9月26日(木)	ギフトづくり検討会(第2回)	2
10月2日(水)	試食検討会	8
10月9日(水)	ギフト写真撮影	3
12月5日(木)	ギフト発送(1回目)	7
12月12日(木)	ギフト発送(2回目)	6
12月19日(木)	ギフト発送(3回目)	7
12月26日(木)	ギフト発送(4回目)	7
2月27日(木)	ギフト作り検討会(第3回)	3

② 那須よかっぺ村のニンジンジュース開発研究への助成

那須塩原市内の農業者で組織する「那須よかっぺ村」の地元野菜を使用したニンジンジュース作りの研究・開発事業への助成をおこなった。

事業名	那須塩原市産野菜におけるニンジンジュース作り
団体名	那須よかっぺ村
事業内容	規格外の野菜を利用したニンジンジュースの研究・開発
実施内容	視察研修(1回) 会議(3回)

(8) シルバーファーマー事業

①シルバーファーマー養成支援塾

平成23年度は市農務畜産課、平成24年度は公社が市農務畜産課から委託を受け、農業に関心があり、労働意欲が旺盛な60歳前後の市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するためのシルバーファーマー養成支援塾を行った。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い農業者としての知識と技術の習得に努めた。

具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成25年4月14日～平成25年12月8日		
受講者数	19名(男性16名 女性3名)		
研修場所	県農業試験場埼玉分場		
実施回数	21回(机上研修・圃場研修・実地研修)		
講師数	6名		
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、にんじん、大根、白菜、ほうれん草		
実地研修	5/26	遅沢氏(西遅沢)圃場	ナスの定植・支柱立て・誘引 18名参加
	8/25	小山氏(上塩原)圃場	大根の間引き・収穫・水洗 16名参加
	11/10	益子氏(鍋掛)圃場	ニンジンの播種・トマト苗片づけ 16名参加
収穫祭	11/17	鳥野目オートキャンプ場にて、研修圃場で収穫した野菜を使用し、交流会を行なった	

②シルバーファーマーの活用

シルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期から第3期生の人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを行った。

(平成25年度)

シルバーファーマー養成支援塾修了生	89名	男性74名 女性15名
シルバーファーマー人材登録数	69名	男性58名 女性11名
シルバーファーマー活用登録数	9名	
マッチング件数	5件	
マッチング人数	7名	男性6名 女性1名

(9) その他目的を達成するために必要な事業

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営に必要なことの対応に努めた。

2. 評議員会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（ 決 議 ） 事 項	
1回	平成 25 年 5 月 27 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業の報告について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度決算の承認について
		議案第 4 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 25 年度第 1 回補正予算の承認について
2回	平成 26 年 1 月 28 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 25 年度第 2 回補正予算の承認について
3回	平成 26 年 3 月 25 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度事業計画の承認について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 26 年度予算の承認について

3. 理事会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（ 決 議 ） 事 項	
1回	平成 25 年 5 月 9 日 那須塩原市役所 901 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社 3 回評議員会の開催について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度事業報告について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 24 年度決算について
		議案第 4 号	公財団法人那須塩原市農業公社平成 25 年度第 1 回補正予算について
		議案第 5 号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第 6 号	字句修正に係る委任決議について
2回	平成 25 年 7 月 1 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	常務理事の選定について
3回	平成 25 年 8 月 7 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
4回	平成 25 年 10 月 29 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	理事の利益相反取引承認について
5回	平成 25 年 11 月 15 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について

6回	平成26年1月23日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第4回評議員会の開催について
		議案第2号	公財団法人那須塩原市農業公社平成25年度第2回補正予算について
7回	平成26年2月17日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第5回評議員会の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度事業計画について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度予算について
		議案第4号	定期提出書類(事業計画書等)について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について

4. 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成25年5月27日	宇都宮地方法務局	理事、監事の変更	平成25年6月12日

5. 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事項	備考
平成25年6月20日	定期提出書類(事業報告等)	県文書学事課
平成26年3月28日	定期提出書類(事業計画等)	県文書学事課

6. 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成25年4月1日	那須塩原市 農務畜産課	農地流動化推進事業(推進員人件費・旅費を除く)、農業経営改善支援活動事業、農業者海外研修派遣事業、アグリ体験事業(ふれあい農園開設・管理業務)委託契約、青木ふるさと物産センター管理事業
平成25年4月1日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館業務委託契約
平成25年4月1日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約
平成25年5月1日	那須塩原市農業 再生協議会	農地流動化推進事業(推進員人件費・旅費分)業務委託契約
平成26年1月31日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業の変更契約

7. 評議員に関する事項 (平成26年3月31日現在)

氏名	就任年月日	備考
阿久津 憲二	平成24年10月1日 就任	那須塩原市長
川嶋 寛	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
二ノ宮 徹夫	平成24年10月1日 就任	那須塩原市農業委員会会長
田代 仁	平成24年10月1日 就任	黒磯土地改良区事務局長
小針 勇	平成24年10月1日 就任	栃木県農業士会代表
月井 美好	平成24年10月1日 就任	前認定農業者の会会長

8. 役員に関する事項 (平成26年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	斉藤 一太	平成24年10月1日 就任	那須塩原市産業観光部長
常務理事	薄井 正行	平成25年5月27日 就任	(公財)那須塩原市農業公社理事兼事務局長
理事	岡本 幸吉	平成24年10月1日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理事	川嶋 勇一	平成24年10月1日 就任	那須塩原市産業観光部農務畜産課長
理事	平井 英樹	平成25年5月27日 就任	那須塩原市農業委員会事務局長
理事	田村 勝美	平成25年5月27日 就任	那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理事	人見 政美	平成25年5月27日 就任	那須野農業協同組合塩那営農経済センター課長
理事	大平 和広	平成25年5月27日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監事	江連 有一	平成24年10月1日 就任	那須野農業協同組合理事
監事	大島 厚子	平成25年5月27日 就任	那須塩原市会計管理者

9. 職員に関する事項 (平成26年3月31日現在)

所属区分	人員	職員区分				備考
		市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用臨時職員	
公社事務局	事務局長	1	1			
	係長	2		2		
	係	6		2	2	
道の駅	所長	(1)	(1)			事務局長兼務
	係	6			6	
計	15	1	2	4	8	

